



小林 智 議員

「ふるさと納税」の取り組みと今後の施策は

答 クラウドファンディングの活用で町の活性化へ

わが町にふるさと納税？
ふるさとに元気を！

問 ふるさと納税の取
り組みと実績及び
今後の方針は？

答 総務課長 平成30
年度の実績は次の
とおり。（※下表の実績
数を参照。）

本年度1月末現在で
の受入額は、240件
460万9454円。
本年度の特徴として
「台風19号被災に対す
る指定寄付金63件1
32万5000円また
新たに組み込んだクラ
ウドファンディング型
で87件116万600
0円の寄付をいただい
た。

の効果となる。

またふるさと納税に
より減額となった町民
税には国からの補填が
あるか。

専 総務課長 返礼品
は送れないが、居
住する町へのふるさと
納税の制限はない。こ
のをご理解いただ
いたうえで町のため
にと複数の方からの実
績がある。

また、減額となった
町民税分には、嵐山町
は地方交付税交付団体
なので、その75%が措
置されることとなつて
いる。

平成30年ふるさと納税の実績

◎町が受け入れたふるさと納税			単位：件、円
①地域猫活動をはじめとする環境保全事業	38	767,099	
②千年の苑をはじめとする農業振興事業	6	220,000	
③教育環境事業、④文化財保護事業	12	380,000	
⑤福祉の充実に関する事業	9	360,000	
⑥スポーツの振興に関する事業	2	60,000	
⑦目的の特定なし	25	661,528	
受け入れたふるさと納税 A＝	92	2,448,627	
返礼品等に要した費用 B＝		1,127,146	
差引（実質の歳入増加額） C＝A-B		1,321,481	
令和元年度（1月末現在）			
受け入れたふるさと納税	240	4,609,454	
（クラウドファンディング型	87	1,166,000	

※本表は、答弁内容・総務省資料の計数等により、試算したものです。



山田 良秋 議員

嵐山町の「沼の再生」と「空き家対策」について

答 沼を縮小し広場等活用、相続おしかけ講座を実施

綺麗な町の沼を
期待します。

問 町管理の沼はいく
つあるか。調査時
期はいつ頃のものか。

答 農政課長 148
力所である。平成
23年の調査である

問 沼は灌漑利用や火
災防止活用出来る。
使命の終わった沼の割
合は。

答 農政課長 16力所
で約1割である。

問 嵐山町を230カ
所に分け、無作為
抽出で21力所を見て回
った。沼の姿を呈して
ないもの約30%であっ
た。再生を目指す対応
できないものか。

再答 農政課長 水利受
益者により管理さ
れている。なお、堤の
改修費用等の一部負担
がある。

問 家に隣接する灌漑
等利用の役目の終
わった沼の悪臭で困っ
ている家がある。対応
できないものか。

答 農政課長 沼の規
模を縮小し公園等
に利用しているところ
もある。

空き家対策に ついて

問 埼玉県知事は今年
1月21日の定例記
者会見で1割を超える
空き家対策は急務と言
っていた。町における
対策は。

答 環境課長 相続お
しかけ講座を実施
した。対策方法は個々
異なるため、専門家へ
の相談を促すことにし
ている。司法書士会、
行政書士会、弁護士会
の相談窓口を町で紹介
している。

問 嵐山町では空き家
を工業団地で働く
若者等が利用してい
るが、他の活用例はあ
るか。

答 環境課長 駅前の
通りのボックスシ
ヨップや町空き家バン
クがある。なお、今年
度「空き家活用モデル
事業」により改修する
空き家については、地
域の自主グループによ
る高齢者等の集いの場
に利用する。



縮小され公園活用（新田沼）＝R2.3.25